

2020年12月7日

(声明)

日本学術会議第25期推薦会員任命問題に関する声明

地球電磁気・地球惑星圏学会

地球電磁気・地球惑星圏学会は、第25期日本学術会議会員候補者の一部について、政府により理由を付さずに任命が行われなかったことに関して憂慮しています。政府と日本学術会議の間に建設的な対話が行われ、問題の早期解決が図られることを強く望みます。

社会の長期の発展に対して、学術の推進が重要であることは言うまでもありません。また日本学術会議は、我が国の学術界を代表する機関です。今回の事態から、我々は、政府がこれまで我が国の発展に多大な貢献を続けてきた学術を尊重する姿勢を失いつつあるのではないかとの危機感を感じております。一方で、日本学術会議自体も日本全国の科学者の総意を汲みとった発信を行う体制にあるかどうかは再考を要する状況であるとも考えます。政府と日本学術会議におかれましては、さらに、以下の点を考慮した改革がなされることを希望します。(1) 日本学術会議の主要な機能、すなわち、科学に関する政府の諮問機関、国際学術組織への参加、学術の発展の方向性の提示、などが維持されること。(2) 日本学術会議からの提言等の表出において、国内の学協会との関係を強化し、広範な学術分野の科学者の意見が反映されること。(3) 会員・連携会員などの選考について透明性を高めること。